



## [新刊紹介]

### 「栄村の自然 植物と風景 (写真集)」

同書に掲載の編集後記を下記に収録しましたので、ご参照下さい。同書の購入希望者は、栄村教育委員会か、新潟県植物保護協会事務局に申し込んで下さい。一部 1500 円で頒布しています。

### [編集後記] (写真集)

栄村の教育委員会から植物の調査依頼を受け、平成 13 年から平成 20 年にわたり各地を精査する機会が与えられました。調査の前半には、主に個々の植物の写真を撮影してきましたが、最近 2・3 年の間、個々の植物写真の他に植物と風景の写真を撮るようになり、その点数も多数集まりました。それらの中から 100 点を選び出して一冊にまとめておきたいと思い、刊行することにしました。

しかしながら、一枚の写真の中に、植物の生きている姿とその背景を収録することは、簡単ではないと強く感じました。植物も多様であり、環境も瞬時にして様々に変わります。その瞬間の美しい自然の姿を映像としてとらえるには、長い年月が必要です。どの種についても満足のできる映像が収録できたとは言えません。何枚が撮影した中から一枚を選び出していますが、一枚の写真に収めてみると反省点が残ります。

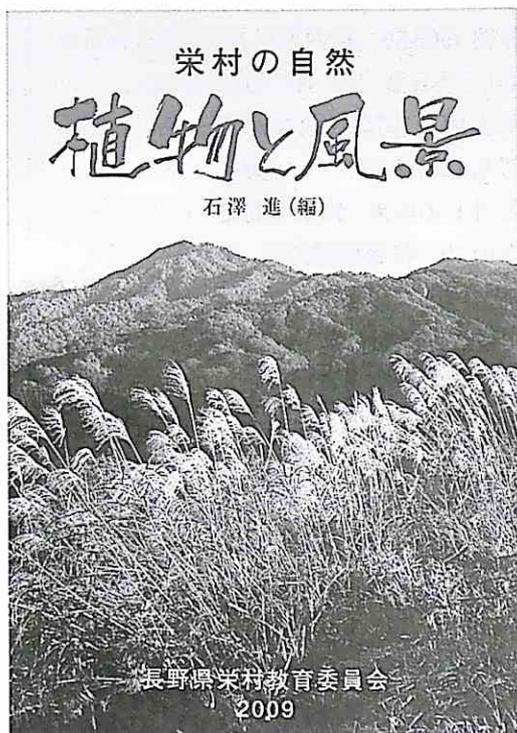
写真の配列に統一性がなく、写真集ならば季節ごとに並べる方が良い、との指摘がありました。編者としては、植物を強調したい気持ちがあり、一般の方々にはなじみの少ない植物の分類体系順に配列しました。類似した植物の仲間が、どのような環境に生活しているか、また同じ植物でも季節より、どのように変わるか、並べて見る方が、植物の生き様がわかるのでは、と配慮したつもりです。いずれにしても、身の回りの植物の生き様の一端に目を向けてほしい、雑草と一まとめて扱われやすい植物も自然界の一員として認識してほしい、との願いをこめたつもりです。

「植物と風景」を織り込む写真の対象には、目立たない小さい植物が除外されて、大型の植物、あるいは樹木が多くなりました。できるだけ小さい植物にも登場するように撮影の際に努力しましたが、引き伸ばして大きな写真にすると、どの植物が主体であるか、分りにくい写真になり、収録できないものもありました。

栄村には、まだまだ多種多様な植物が生育しています。そのような多くの植物に焦点をしばって撮影を続けて続編が出版できればと思っています。多くの方々のご意見が頂ければ幸いです。

最後に、栄村の自然の豊かさを示す植物調査の必要性を認めて頂いた前高橋彦芳村長をはじめ、宮川幹雄教育長ならびに教育委員会の皆様に謝意を表します。また、植物調査を引き受けている新潟巧測会社の佐藤巧社長と調査に同行している朱雁氏のご理解とご協力により、加えてコーエイ印刷の横木正幸社長のご尽力により出版することができました。以上の関係者に厚く御礼申し上げます。

(編者)



### 栄村の自然 植物と風景

発行日	平成 21 年 1 月 15 日
編集	石澤 進 新津植物資料室 (積雪地域植物研究所)
発行所	栄村教育委員会 長野県下水内群栄村大字北信 3433
印刷	コーエイ印刷株式会社 新潟県新潟市中央区弁天橋通 1-31-30